

2005

おまえざき



市議会だより



第1回御前崎市ふれあい広場・健康まつり

第1回御前崎市民体育大会



第1回御前崎市文化祭

地域防災訓練

第3号

(2004.10・11・12月)

平成17年1月発行

御前崎市議会

● 議長のことば	2
● 12月定例議会	3
● 予算質疑	4
● 一般質問	5
● 委員会報告	10
● 特別委員会報告	13
● 議員視察	14
● 編集後記	16

12月定例議会

16年度12月補正予算は災害復旧費主体で編成される

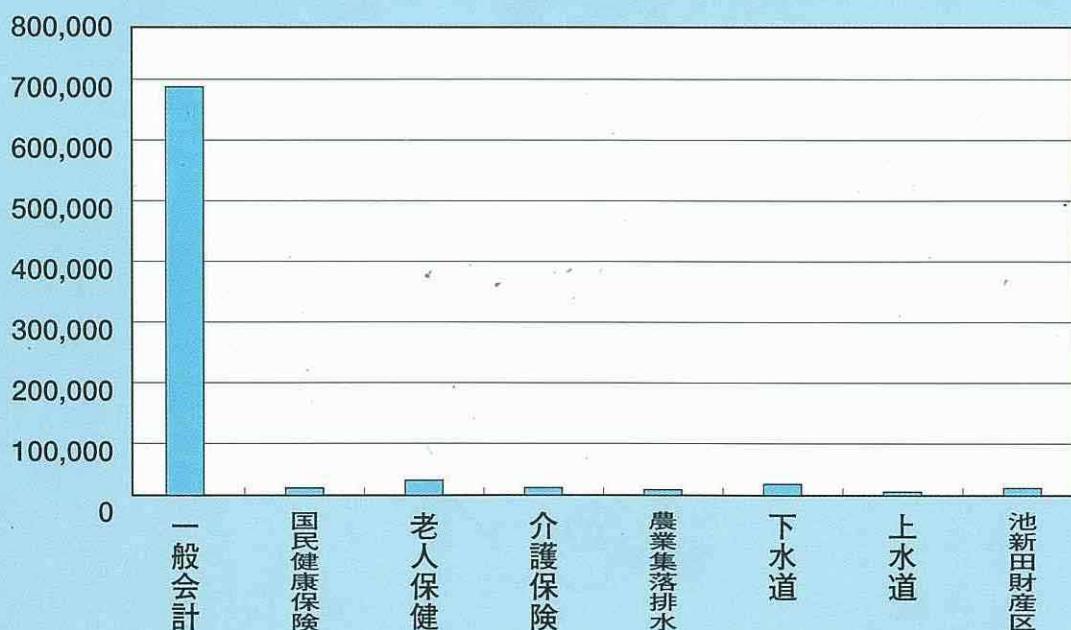
{概要} 12月の定例議会が12月7日より16日間の会期で開催されました。提出された条例制定や平成16年度補正予算等21議案について審議され、いずれも原案どおり可決されました。予算に対する質疑に2名、一般質問は10名が登壇して市長の見解を質しました。

御前崎市一般会計・特別会計歳入歳出補正予算総括表

(単位:千円)

No.	区分	補正前予算額	補正予算額	合計
1	一般会計	20,173,000	678,000	20,851,000
2	国民健康保険	2,974,717	13,000	2,987,717
3	老人保健	3,074,000	30,344	3,104,344
4	介護保険	1,854,922	15,000	1,869,922
5	農業集落排水	1,081,400	9,600	1,091,000
6	下水道	1,338,800	18,040	1,356,840
7	上水道	1,055,254	3,500	1,058,754
8	池新田財産区	109,428	13,380	122,808
	合計	31,661,521	780,864	32,442,385

区別補正予算額 (単位:千円)



予算質疑

2名が登壇

平成16年度補正予算を問う



清水澄夫 議員

今回の災害で農林災害としては市内全域で23ヶ所、内訳は浜岡地区22ヶ所、御前崎地区1ヶ所となっている。道水路別では農道20ヶ所、水路3ヶ所ある。被害調査の中で、農林災害として国の補助要綱に該当しそうな箇所について、県農林事務所とも協議しながら検討した。その結果、農道や林道として整備した道路が、その後に市道認定されて建設課に移管されると、農林災害でなく公共災害によつての申請ということになる。土砂や倒木の除去について、農道として使われている部分のみが補助対象となり法面などは対象外ですので市の単独費として復

問 災害復旧費の中で農林水産施設・土木施設について、台風22号の被害では一般家庭から公共施設まで大きな被害が生じました。そこでお聞きしますが土木施設災害復旧費には1億円の国・県の支出金が計上されていますが農業水産施設災害復旧費は何故計上されないのか

阿南澄男 議員

答 水道事業収益10億5,800万円の約3割、2億8,000万円の補助金となっていますが、厳しい財政状況にある一般会計からの補助額に上限設定を考えているか

答 御前崎地区の有収率の向上が一番の問題になっている。老朽管の布設替などに積極的に取り組んでいく。



問 16年度予定で現金預金4億3,800万円を一部取り崩して次年度の一般会計の負担軽減と老朽管布設替事業に活かしてはどうか

答 16年度決算見込みでは4億円余の預金があり検討したい。



問 旧浜岡町、旧御前崎町では有収率に格差があり、その原因となる御前崎地区の老朽管の使用率も高い（1年間に3,000万円の損失金は一般会計からの補助金で補っている）布設替や配水管の整備事業対策と補助額減少に向け対策を考え実行しているか

おまえざき市議会だより

一般質問



- 御前崎市総合計画策定ワーキング会議始まる
- タウンミーティングによる市民参画

10名が登壇・市政を問う

御前崎市の

防災体制について

問 防災マニュアル「づくり」を作成するプロセスを大切にしていただきたいと思います。現在どの段階にありますか

答 旧町の防災計画を市に読み替え対応しているが、今年度中には、新市の防災計画を策定し、市民に配布できる防災マニュアルを作成していくます。

岡村 勝 議員

問 食料、飲料水の備蓄はどうあるのか

答 サバイバルフーズ等4万6,000食用意してあります。

問 自主防組織と消防団との連携は

答 地域防災訓練などの機会に、自主防災会と協働して活動していくことが、有効な訓練になると考えます。

問 市立病院として、民間の病院を含めた他の病院との連携は

答 13名の委員で構成された緊急対応訓練、ドクターへリを使用した訓練等年2回実施している。他の病院とは普段から病診連携を行っているが、地域住民を含めた合同訓練の実施も考えています。

掲張 正 議員

三位一体改革

問 地方への権限・税源移譲により国の補助金・負担金が削減するとのことです。

先送りされた事項も多く不透明な部分が多くあります。御前崎市への影響はどのような事が考えられるか、又金額的にはどのくらいか

6月議会で市長の重点事項をお聞きしましたが、来年度予算編成にあたって、どのような事業に重点をおきますか

す。事務事業の改善やタウンミーティングのご意見を参考にしていきます。

介護予防施策

問 厚生労働省の試算では8年後に介護保険料が現在の3,300円から6,000円になるという見通しがされました。但し介護予防対策の効果があがれば4,900円程度になります。当市での積極的な取り組みはないか

答 転倒予防として西側区民会館とぶるる、高齢者運動教室を通所リハビリテーション浜岡で、閉じこもり予防についてはおたつしゃ教室で実施、痴呆予防については講演会、教室、相談で対処しております。介護予防専門の施設設置につきましては関係の方々のご意見を伺うと共に先進事例調査などを含め引き続き検討します。

阿南 澄男 議員

17年度歳入は

問 歳入のマイナス面として施のために運転資金が必要であり災害等の基金の備えを考えれば17年度は財源不足であると思います。反面

プラス面として中部電力5号機の固定資産税が18年より見込まれます。よって17年度予算編成については新市の発展に必要な事業のために短期借入を行い歳入の平準化を図ると共に5カ年程度の本格的な歳入見込み計画を立てる必要があるのです

答 17年度予算は編成中であります。5号機の固定資産税の増収は見込めますが、市税全体の落ち込み、国・県よりの交付税や負担金の削減など

大変厳しい状況です。今後は長期的な歳入見込み計画を立て財政調整基金の積立、運用で年度間の歳入平準化に努めてまいります。

問 歳出について市民の最大の関心事は行政コストの低減です。経常経費の中でもまた6月議会でも答弁されました人が件費削減、投資的経費についても厳しい選択はもとより将来性ある事業にメリハリある編成が必要だと思います

答 17年度予算は編成中であります。市町村合併で目指す人件費等のコスト削減を始め経費抑制には総合計画の長期計画、短期ローリング計画、進行管理計画の中で行政評価制度の導入を考えています。目標管理の中での確な予算編成をしてまいりたいと考えております。

清水 澄夫 議員

問 原発震災と自主防災会の支援について

答 東海地震の第3次地震被害想定においての加速度について、一見数値が低いように見えますが、適切な想定であると考えます。原子力発電所の耐震性につきましては、現場での点検による耐震性チエックの結果、耐震性の確保が確認され、耐震安全性は確保されていると確信しています。自主防への支援策につきましては、運営費補助や防災資機材整備等助成をして育成や充実を図っており、更なる支援策についても検討をつけてまいります。

問 市内循環バスの運行を求める

答 市内バスの運行について旧浜岡町で平成12年度に循環バスにするか、福祉タクシー

券にするのか、検討の結果循環バスは利用度が低いとのことで福祉タクシー券の制度が発足した。本年度は、市立総合病院や主要な公共施設に近い人と、そうでない人の利用格差の解消を図る為、初乗り運賃補助を見直すなどにより利用しやすい制度となるよう検討を進めてまいります。

問 市長も公約として掲げている配食サービスの実現の方向性については

答 高齢者に配食サービスを行なうことは、栄養のバランスのとれた食事を供給するだけではなく、利用者の安否が確認できると共に、他者との交流の機会にもなり、効果も期待できます。配食サービスの実施を前向きに検討しているところであります。

西島 昌和 議員

新野川改修について

問 市として治水に対してどのような考え方か、又基礎調査と水量実態調査を実施して事業の推進を図ることが必要だと思いますが

答 新野川の現状河床高を切り下げた可動堰設置は、門屋川を初め支流の水位が下がることが予想されます。関係者との調整もあり慎重に検討してまいります。未改修部分については、県へ働きかけてまいります。基礎調査と水量実態調査ですが、調査の可能性について検討させて頂きま

答 調整池により高松や池新田地区の受益地が恩恵を受けることになり農業振興上重要な事業であると認識しております。篠ヶ谷地区をはじめ、新野地区の方々のご協力を得ることが不可欠であり、地区で受益地となつていらない水田など事業に併せて事態解消の努力もしなければと思つております。市として、池周辺の整備と自然公園化構想などを視野に入れながら、支援策を行なつてまいります。

大井川用水と
篠ヶ谷池について

問 国の農業政策の重要施設を受け入れるに当たり市としてどうこの問題に取り組むのか、基本的スタンスは、又受け入れとなれば地域の活性化の為にも、放流水の利用は元より自然公園化の構想もあり地域活性化策についてどのようにお考えですか

答 調整池により高松や池新田地区の受益地が恩恵を受けることになり農業振興上重要な事業であると認識しております。篠ヶ谷地区をはじめ、新野地区の方々のご協力を得ることが不可欠であり、地区で受益地となつていらない水田など事業に併せて事態解消の努力もしなければと思つております。市として、池周辺の整備と自然公園化構想などを視野に入れながら、支援策を行なつてまいります。

漁業振興について

問 磯焼け対策と稚魚放流事業の継続についてどのように対応をお考えか

答 先ず磯焼け対策は、県主体となって沿岸漁場整備開発事業として伊豆地区にてコンクリート付カジメの養殖をし榛南海域にブロックごと移設し海中林を復旧させようとするもの、又榛南5漁協、県、市町村で組織する「榛南地域磯焼け対策推進協議会」で藻場の保存、拡大を図り長期的な資源確保を目指した取り組みを行っている。

稚魚放流事業は、昭和55年から電源立地地域等初期対策交付金事業で実施され、マダイ、ヒラメ、アワビの稚魚放流がなされていたが、平成16年度で事業が終了するのでマダイ、ヒラメは水産資源であると同時に遊漁船を数多く



持つ御前崎市にとって大事な観光資源であります。従来から実施している放流効果実証事業に関係する御前崎市、相良町、吉田町で負担金を新たに設け稚魚の放流数の確保をすることとしています。ヒラメについても地域栽培推進事業、資源増大推進普及事業の拡充などで、放流数を確保し今後とも地域に定着している栽培漁業、つくり育てる漁業を積極的に推進してまいりたいと考えております。

御前崎市の 観光施策について

観光施策について

問 市長は観光振興について「観光協会を中心とした新たな観光地としての特徴をさらに充実し、ライフスタイルの変化に伴う価値観の多様化や、旅行形態の変化に適切に対応できる施策を推進していく」と言っていますが、将来を見据えた観光施策をどのように考えているのでしょうか。今、観光に携わる人たちは、大変不安

の中にいます。早急に取り組んでいかなければならぬと思います。総合計画を策定、実施するまでの一年間と、将来の観光施策についてソフト、ハード面で市長はどうに考えているのか

答 観光を取り巻く環境が大変厳しい中で、観光地として

新たな発展を図るために、時代の潮流をふまえ、地域にある独自性や独創性を有する自然、産業、歴史、文化などの観光素材の発掘と、既存の観光資源の見直しなどにより体験型の新しい観光商品の開発と受け入れ体制の整備を進め、交流人口の拡大を図る必要があると考えております。具体的には、地域にある自然や伝統文化などを活かし、観光の原点に戻つて地域が一体となり、その魅力を高めていくことが極めて重要です。そのため、平成17年度におきましては、海の拠点として、マリンパークの整備の充実を図るとともに、市内の名所、旧跡を巡るウォーキングマップづくりや「なぶら市場」と「あらさわふる里公園」との交流、連携を進めるなど地域の魅力を高め観光振興を図っています。

水野 克尚 議員

サービスの高度化について

問 市内に住む外国人への対応や観光、企業誘致への情報発信窓口業務や語学への支援、地域参加への誘導等を専門に行う課、室の設置をすべきと思うが

答 国際交流、協力事業への助成や、後援等を行い、外国人住民が円滑な日常生活を送れるよう専門の担当課の設置を検討する。事業業務も専門的な知識を必要とする分野が多くなっている。サービスの低下を招かない適切な対応を図っていきたいと思います。

行政の効率化について

問 合併により、有効な職員登用ができるよう期待されている。女性や中堅職員の積極的登用を図り、行政の活性化を図る必要があると思うが

答 公共サービスのあり方にについて、行政、民間、市民との役割分担を見直していく。

合併協議会で職員数を10年間で50名減を目指し人件費や物件費の削減効果を見込んでいます。その為計画的な採用、退職管理で適正化を図っています。

御前崎地区の 公民館設置について

問 現在みなど公民館に2地区が同居している状態です。又、津波等の危険地域でもあります。早期に分割を要望しますが

答 館長や町内会長を中心には検討いただいた結果、白羽地区は文化会館の一部を白羽公民館として活用する方向で協議を進めています。御前崎公民館は、地震による津波危険区域内にあるためなるべく早期に移設を検討する必要があると考えております。

灯台周辺

観光整備について

問 大型宿泊施設が撤退し観光地誘客が心配である。入込人口の増加を図るために灯台資料館の設置を希望しますが

答 御前崎遠州灘県立自然公園の第一種特別区域に指定されており、景観に配慮した規制・解除等の課題に加え、斜面部の崩壊対策といった問題も懸念されます。この海岸地帯から上に登る生活道と避難路の機能が乏しいので、優先順位を検討しながら必要な路線について計画的に整備を進めます。

新設道路について

問 灯台下から中電までの海岸道路は、海岸侵食が激しく台風時は高波等で通行止めも頻繁にあり津波避難道路の整備と灯台周辺の観光活性化に合わせて必要と思われるが

松林 秀一 議員

答 御前崎遠州灘県立自然公園の第一種特別区域に指定されています。山間地の市町村と観光交流を継続、推進し今後、どのように交流の輪を広げていくべきか検討してまいります。

広域的視野に立った まちづくりについて

問 道路や公共施設等の基盤整備、土地利用など、災害に強いまちづくりの必要がある。市主導で事業計画を立案すべきと思うが

答 地域ごとの整備度合いに不均衡の無いよう市の総合計画に沿った道路整備計画を策定し進めていきたい。しかし緊急度の高い要望内容等の場合は、優先して実施できるようになります。

行政改革

問 「より安いコストで、より良いサービスを提供するための方策」として行政評価が有効ではないか。住民に一番近い現場部門の改善活動や、その成果を数値で評価し住民がわかるように情報公開が必要ではありますか。行政の実態が把握でき認識し変化度合いが毎年比較できるようになれば分析可能にもなり、競争原理が働くようになります。

答 財政環境の厳しさと同時に少子高齢化社会を迎え、市町村独自の創意・工夫が求められています。より効果のある行政サービスを提供するために行政評価は避けて通れないものと受けとめておりま



す。行政評価や目標管理の重要性を職員に十分認識させるとともに、行政の責任分野を明確にし「適正な負担・適正なサービス」を再検討します。

総合窓口も出てくるのではないか。静岡県内21市の中で行政改革度は20番目です。市民が納得できる改革ができませんか



委員会報告

委員会で審議された中で、特に質疑の集中したものをピックアップしました。

総務経済委員会

問 平成16年御前崎市一般会計歳入歳出予算の補正（第2号）の内総務部、事業部、監査委員の所管に属する事項について、総務管理費中、市単工事費3,620万円の詳細説明を

答 御前崎支所の空調機は20年を経過し故障が多い。次年度、支所を教育会館として使用するため、内訳はチラーの交換及び設備関係に3,500万円、浄化槽の改修に120万円をお願いしたい。

問 総務管理費中、バス路線維持費補助金について当初の契約内容について聞きたい

答 平成14年度に道路運送法が改正され、事業者が届出により撤退できるようになった。生活交通を確保するには自治体の補助制度で対応せざるを得ない。

所では市民室窓口で34業務を扱い健康福祉室窓口で33業務を扱っています。利便性を比較した中で本庁での窓口で対応しています。

答 果のある行政サービスの実現をめざします。

問 時間外勤務手当について
各課の残業の比率は把握しているのか

答 每月課ごとに勤務状況報告を提出させているので把握している。



問 徴稅費中、時間外勤務手当について関連して、夜間業務の状況を知りたい

答 每週火曜日は、夜8時まで窓口業務を行っている。9月7日から12月14日までに14回実施した。納税者数は平均して1日3.8人、利用者は6.2人であった。納稅額にして288万円余の徴収実績があった。

問 農業費中、水田高度利用推進事業補助金について詳細説明を

答 松くい虫防除事業伐倒、燻蒸した松を炭窯で焼却して木炭と木酢液を抽出し、土壤改良と松林散布の提案があり炭窯の設置とその附帯工事として300万円を計上した。

問 林業費中、東町保全管理組合補助金について詳細説明を



問 台風災害による修繕する公園はどこか



答 長者公園のトイレ、高松みどりの森公園の法面崩落、あらさわふる里公園の法面崩落、下岬公園トイレ、佐倉自然公園のトイレの修繕である。

答 1月には発注されると思う。

問 新野川の堤防崩壊の復旧はいつ頃になるか

答 工法的に難しい。来年6月頃になるかもしれない。

問 あらさわ公園入口の通行止めは早期に復旧してもらいたい頃になるかも知れない。

問 松くい虫等防除事業委託料として、1,000万円計上されているが、これで事業が完了するのか

答 足りない可能性がある。不足した場合は来年度早期に事業発注をしていきたい。

問 観光費に関連してサンホテルの状況について聞きたい

答 2月中旬までに解体し跡地は市有地、民地、静鉄の所有地であるが、当面静鉄でまとめてもらうことになっている。

問 市で管理する公園の基準はあるのか。モデル事業で整備した農村公園等は対象となるのか

答 都市公園は市が管理しています。農村公園等は地元管理となっていますが、遊具の老朽化等による事故防止は市として対応していきたい。

問 既存の都市下水路について、断面の見直し等再調査する予定はあるか

答 落合川については、以前から改修計画がある。それ以外についても改良の必要がある箇所は調査していきたい。

おまえざき市議会だより

文教厚生委員会

問 重度心身障害者医療扶助費について、件数が増加していると聞いたが具体的に知りたい

答 診療件数は7月727件、8月754件、9月846件、10月852件となっている。



問 児童福祉費中、時間外勤務手当では、延長保育によるものか

答 全市内4園の延長保育にかかるものである。延長保育は本來、5時までであるが、中には親の仕事の関係上6時を過ぎるケースもある。

問 児童福祉費中、時間外勤務手当で336万円の算出根拠を聞きたい

答 各園から提出された12月から3月の見込みを集計したものである。4園で月420時間、一人当たり7時間を見込んでい一人当たり7時間を見込んでいる。

問 平成16年度御前崎市老人保健特別会計歳入歳出予算の補正(1号)の繰出金について

答 単年度決算であり翌年に精算することになっている。平成15年度の決算が確定したことにより残額を一般会計へ戻すということである。



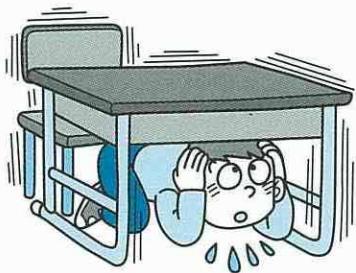
問 清川芸術館は、毎年維持管理費が掛かってきたが、市の今後の考え方について聞きたい

答 来館者は1日平均2人前後であるが、市立図書館へ移して展示し、今後は別の展示場として利用するなど検討していくと考えている。



問 平成16年度御前崎市介護保険特別会計歳入歳出予算の補正(第2号)の基金繰入金について

答 御前崎市で持っている基金を取り崩すもので残額は4,100万円である。介護保険特別会計は、3年ごとに見直しをして決定している。基金はその3年間を維持できるよう金額が設定されている。



問 平成16年度御前崎市農業集落排水事業特別会計歳入歳出予算の補正(第2号)について地震に対する市の対応について聞きたい

答 10月28、29日にかけて新潟県中越地震の被災状況を視察した。当市においても液状化によるマンホールの浮上、管路の破損は予想されるので、生活安全課と連携し早期に初動体制の確立、対応マニュアルの作成を行っていく。下水道課としても、施工業者、管理業者、清掃業者等の緊急時連絡リストの作成、仮設トイレの確保や上水道復旧後の広報活動等に万全を期したい。

総合開発計画 策定特別委員会

平成16年
11月18日

市の将来像、又基本理念
を考える中で主要施策につ
いて審議し、市総合計画審
議会に提言できるように取
り組んでいく。

12月1日

総合計画策定の調査研究
テーマを次の5項目と決定
①道路・港湾・都市計画
(下水道)について
②産業と雇用
③健康と福祉
④教育全般
⑤環境・安全

12月17日

- ①道路・港湾・都市計画
(下水道)について
担当者に現状と将来につ
いて聞く



御前崎港～東名 相良牧之原IC Omaezaki Port - Tomei Sagara-Makinohara IC	20km
御前崎港～東名吉田IC Omaezaki Port - Tomei Yoshida IC	24km
御前崎港～東名菊川IC Omaezaki Port - Tomei Kujugawa IC	24km
御前崎港～第二東名(仮) 金谷IC Omaezaki Port - Daishi Tomei (tentative) Karaya IC	32km
御前崎港～浜松市 Omaezaki Port - Hamamatsu City	45km
御前崎港～静岡市 Omaezaki Port - Shizuoka City	45km

平成16年11月18日

「MOX燃料の安全性について」

講師

経済産業省原子力安全保安院
原子力発電安全審査課長 佐藤 均氏

○現在においては、核燃料サイクルにより使用済みの燃料
も再処理することになった。

他のサイトではプルサーマル計画が進められている。

ウラン燃料も特性をふまえ十分な管理をすれば同じである。

プルサーマルを進めるにあたっては、地元市民が安全性
と必要性を十分理解した上で進めていく必要がある。
○新聞報道にありました確率論的耐震安全性評価で浜岡原
子力発電所の耐震性を論ずるのは適当ではない。
○アルカリ骨材反応に対しても、国として健全な状態である
と認めました。尚、念のためコアを採取し促進膨張試験、
圧縮強度試験を実施するよう指示した。

12月17日

- ①道路・港湾・都市計画
(下水道)について
周辺環境放射能調査結果報告について（平成16年7月）
9月
- ②浜岡原子力発電所現状報告について

原子力対策 特別委員会

文教厚生委員会視察研修

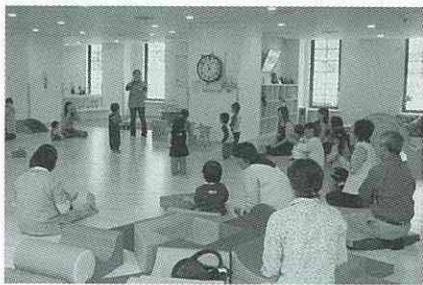
(平成16年10月5日～6日)

視察先 組合立諏訪中央病院

茅野市役所学校教育課

(1)組合立諏訪中央病院

(2)茅野市学童クラブ



(2) 高浜町におけるプルサーマル計画は閣議決定をうけ推進を表明していたが、MOX燃料の不正が発覚し計画は頓挫した。今回の美浜原発事故を契機に本計画は一時保留となつていて。高浜原子力防災センターは全国21ヶ所の原子力保安検査官事務所の1つである。本センターは平成11年の(株)JCOにおける臨界事故を教訓に作られたオフサイトセンターで全体会議用の大型映像装置やTV会議システム、各種電算システムが設備されている。建物本体は体育館のようなワンフロアで全ての機能が集中しており、御前崎市の当該センターと建物構造の違いがあつた。

「あたたかな急性期病院」をスローガンにやさしく、あたたかく、たしかな医療を目指し予防からリハビリまでの一貫した医療、充実した救急医療等を医療目標に掲げ茅野市・諏訪市・原村で構成する一部事務組合で362床の病院。約1万坪の敷地の中に、緩和ケア病棟、療養型病棟、介護老人保健施設、ドック検診センター、訪問看護ステーション等効率的に運営されている。24時間365日患者を断らない努力をしていいる。「放り出さない」「見放さない」医療を実践している。

平成9年4月1日から実施している。7ヶ所の小学校、2ヶ所の地区センター、1ヶ所の保育園、計10ヶ所に設置されている。入所できる児童の範囲は、小学校1年生から3年生までの児童で保護者が就労等により家庭にいない児童及び適切な保護に欠ける児童である。

11月9日から10日の2日間担当議員9名で、福井県の美浜原子力発電所の配管破損事故及び高浜町におけるプルサーマル実施への取り組みと計画について研修を行いました。

研修概要は以下のとおりです。

(1) 美浜原子力発電所で、事故状況の住民への周知方法はCA TVによる文字放送や報道チャンネルを利用して広報しましたが、事故直後からの負傷者の救急搬送が多くたため、野外放送による広報の必要が生じていました。役場においては事故対策会議を深夜までに3回行いました。国は事故翌日に経済産業大臣が現地視察を行い、美浜町はこの時点で支援要請を行っている。町広報誌では緊急特集記事を3カ月に亘り掲載し町民への情報提供に努めており、住民は事故を冷静に受け止めている。

原子力対策特別委員会視察研修

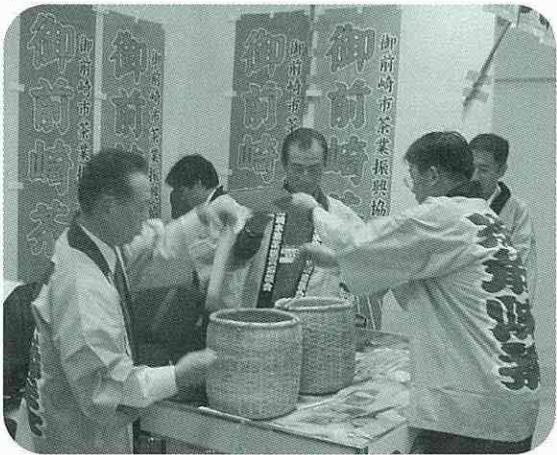
(平成16年11月9日～10日)

議員視察

平成16年10月12日 被災地視察



電気のふるさと自慢市視察



平成16年11月19日

議会の動き

10月

1日 相良町御前崎市広域施設組合議会
御前崎市スポーツ振興審議会

4日 静岡県西部地区市議会議長協議会
文教厚生委員会視察研修

7日 議会だより編集委員会
愛知県師勝町議会視察来厅

8日 市町村国民健康保険運営
協議会会長会議

12日 議会全員協議会(台風被害調査)
農振地域整備計画管理調整委員会

14日 社会福祉協議会理事会・評議員会
全国原発立地市議会議長会役員会

19日 議会全員協議会
文教厚生委員会

20日 中東遠看護専門学校組合議会
駿遠学園管理組合議会

21日 静岡県市議会議長会定期総会
小学校陸上競技大会

31日 ふれあい広場 健康まつり
御前崎市民体育大会

30日 御前崎市文化祭
御前崎市交通指導員大会

29日 小笠掛川振興協議会要望活動
埼玉県吉田町議会視察来厅

26日 老人クラブ大会
子育て支援・DV防止ネットワーク会議

25日 工ネルギーフォーラム
核燃料税陳情

24日 駿河湾横断海上ネットワー
ク事業講演会

23日 御前崎港セミナー

11月

1日 御前崎奥大井連絡道路整備
促進期成同盟会陳情

3日 御前崎市青少年健全育成総決起大会

5日 小笠地域南北広域幹線道路
整備推進協議会

6日 大井川右岸土地改良区50周年
総合開発計画策定特別委員会

8日 原子力対策特別委員会視察研修

10日 山梨県富士河口湖町議会視察来厅

12日 議会全員協議会
暴力追放総決起大会

14日 駿遠学園管理組合議会定数検討会
電気のふるさと自慢市視察来厅

16日 大分県三重町議会視察来厅

18日 菲山町議会視察来厅

19日 総合開発計画策定特別委員会
電気のふるさと自慢市視察会

静岡県地方議会議長連絡協議会
会研修会

24日 駿河湾横断海上ネットワー
ク事業講演会

25日 核燃料税陳情

26日 工ネルギーフォーラム
核燃料税陳情

27日 老人クラブ大会
子育て支援・DV防止ネットワーク会議

28日 小笠掛川振興協議会要望活動
埼玉県吉田町議会視察来厅

29日 駿河湾横断海上ネットワー
ク事業講演会

30日 御前崎港セミナー

12月

1日 総合開発計画策定特別委員会
市立病院医療連絡会

2日 大井川水環境健全化議員協
議会運営委員会

3日 地域防災訓練
民生委員委嘱状交付式

4日 市町村对抗駅伝競走大会
議会運営委員会

5日 民生委員委嘱状交付式
議会運営委員会

6日 地域防災訓練
議会運営委員会

7日 民生委員委嘱状交付式
議会運営委員会

8日 社会福祉協議会理事会・評議員会
文教厚生委員会

9日 CATV番組審議会
静岡県原発環境安全協議会

10日 旧浜岡町観光協会役員会
議会運営委員会

11日 年末交通安全原民運動出陣式
総務経済委員会

12日 静岡県原発環境安全協議会
議会だより編集委員会

13日 原子力対策特別委員会
議会運営委員会

14日 駿遠学園管理組合議会
議会運営委員会

15日 静岡県原発環境安全協議会
議会だより編集委員会

16日 御前崎市・相良町学校組合議会
議会だより編集委員会

17日 総合開発計画策定特別委員会
原子力対策特別委員会

18日 御前崎市議会
議会だより編集委員会

19日 菲山町議会
議会だより編集委員会

20日 菲山町議会
議会だより編集委員会



新生御前崎市駅伝大会に参加健闘する

(平成16年12月4日 撮影)

来年に期待し挑戦

第5回県市町村対抗駅伝が12月4日に静岡市を舞台に熱戦が繰り広げられました。当御前崎市より18名の選手がエントリーしました。曇り空の下、県内全69市町村から70チームが出場し、「市の部」に22市から23チーム、「町村の部」に47チームが参加、700人の郷土の代表選手が熱いたすきリレーを展開しました。今年は区間記録を合わせて、昨年の8を上回る12の新記録が生まれました。沿道には30万人の観客が詰めかけ声援を寄せてくださいました。御前崎市はエース2人を故障で欠きましたが、試合後に選手一同で「結果は残念であったが、十分次につながる内容であり、来年は一つでも順位を上げよう」と誓い合いました。



新年あけましておめでとうございます。

新春を迎える平成16年を振り返りますと、合併新年度のスタートから始まり、自然災害が日本列島を襲い、大変厳しい年でもありました。被災者の方たちには心からお見舞い申し上げます。

「議会だより」も、限られた時間と紙面で編集しておりますが、多くの市民の皆様に読んで頂けるように、又愛されれるよう努めてまいります。今年も宜しくお願ひ致します。

編集委員会

(M.O.)

委員長 片西大員
副委員長 岩瀬澤島
委員 関島昌一
若増泰初彦
杉田彦伸代
満和孝

編集後記